

## パソコン教室の窓から(67)

NPO 法人コミュニティ NET ひたち(Cnet) 久保 裕

## Excel を上手に使おう—住所録—

パソコンの使い始めは、まず文字入力です。もともとワープロ機が発達してパソコンになっていきました。インターネットで調べものや検索するには、キーワードの文字入力をしなければなりません。スマホは音声会話だけで十分という人も、LINE や FB(フェイスブック)で友人知人との交流は欠かせません。情報交換には絵文字や写真を多用しますが、やはり、日時や場所などの文字入力があると分かり易い正確な情報を伝えることができます。

そしてパソコンは本来コンピュータ(計算機)なのです。とてつもない高速演算をする計算機なのです。パソコンは、パーソナル・コンピュータの略語です。さてパソコンで必須のアプリに Excel(表計算アプリ)があります。

Excel を開いて見ると、画面は小さなセルと呼ばれるマス目で区切られています。縦方向(行)に番号が、横方向(列)に A,B,C と記号が付けられています。日本語では 5 文字、英文字では 8 文字が入る大きさが標準になっています。方眼紙のようなものです。このセルの幅と高さは自由に変更できます。Excel というアプリは英語圏の国で開発されたものですから、日本語では少々幅も高さも小さいので、セルを広くして使うと読みやすくなります。Excel は人員名簿、住所録や会計報告などによく使います。

私の親類や友人の住所録には、名前と住所とともに、生年月日と亡くなった日(没年月日)を記入することにしてあります。記入してある人が亡くなったときに、そのセルは黒塗にして文字を白色に書き換えます。死亡年月日を書く列もつくってあり、何歳でお亡くなりになったか、何回忌になるのか計算式を次の列に入れてあります。年齢計算式では、存命であれば現在の歳がわかります。生誕年齢になります。(参考例を下表に示す)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	氏名	〒	住所	生年月日	年齢	没年月日	没年齢	回忌
2	A	n	日立市・・	1936/11/7	87.2			
3	B	m	横浜市・・	1909/12/8	114.1	1995/2/20	85.2	30

【年齢】の列の式は=(NOW()-D3)/(365\*3+366)\*4

【没年齢】の列の式=(F3-D3)/(365\*3+366)\*4

【回忌】の列の式=YEAR(NOW())-YEAR(G3)+1

「年齢」の欄を見ると、米寿(88 歳)や喜寿(77 歳)などの長寿のお祝いの年になっていることも分かります。また亡くなった人が生誕何年になるのか、「没年齢」は亡くなった時の年齢です。「回忌」は死後何回忌になるのかも分かります。今年は父の 30 回忌、2 人の叔父の夫々 35 回忌と 20 回忌と節目の年になっていることが分かりました。兄妹と従弟と一緒に、お彼岸のころに墓参りを計画しています。